

トルコ共和国  
ツヅラ職業技術訓練高校プロジェクト  
第二次事前調査報告書

昭和62年5月

国際協力事業団  
社会開発協力部

海	セ
J	R
87-061	

国際協力事業団		
受入 月日	'87. 7. 2	314
登録 No.	16611	21.3
		SDC

JICA LIBRARY



1050889[3]



## 序 文

トルコ国政府は、第5次国家開発5ヶ年計画（1985～1989年）において、近年の急速な工業発展に伴う同国の社会・産業構造の変革に対応したバランスのとれた社会・経済開発目標を設定、この目標を達成するための人材育成計画の推進に力を注いでいる。特に電気・電子・コンピュータ科学の技術者、テクニシャン及びこれらの人材の教育にあたる教員が不足しており、こうした人材を育成するための職業技術教育の充実を図ることが急務とされている。

このような現状からトルコ国教育・青少年・スポーツ省では技術者育成のための諸政策を計画、各種事業を展開中であるが、この一環として我が国に対し職業技術高校への技術協力を要請してきた。

この要請に基づき、当事業団では昭和60年11月に予備調査団、昭和61年6月に事前調査団、さらに同年9月には長期調査員チームを派遣、これらの調査の結果、イスタンブール近郊のツヅラにある職業技術高校における電気・電子・コンピュータ科学のプロジェクト協力を実施することを決定した。

この決定に基づき、実施協議調査団の派遣を前に、R/D内容の説明・協議等必要とされる諸準備を行うことを目的として、昭和62年4月5日から4月18日まで、国際協力事業団社会開発協力部阿部信司次長を団長とする第2次事前調査団を派遣した。

本報告書は、本件事前調査団の現地における調査結果を取りまとめたものである。最後に、本件調査にご協力いただいた関係者の方々に対し深甚の謝意を表するとともに、今後のご支援とご協力をお願いするものである。

昭和62年5月

国際協力事業団社会開発協力部長

山下 生比古





教育・青少年・スポーツ省職業技術教育局にて



国家計画庁にて

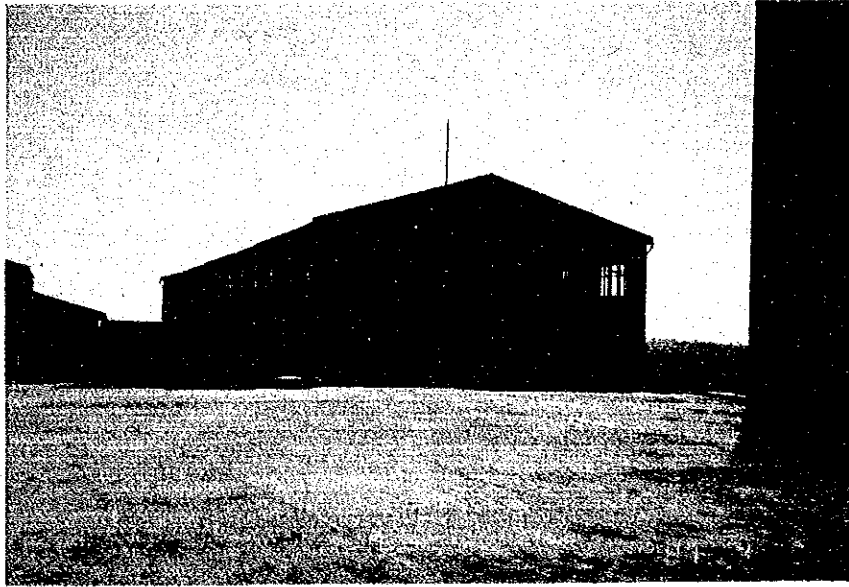




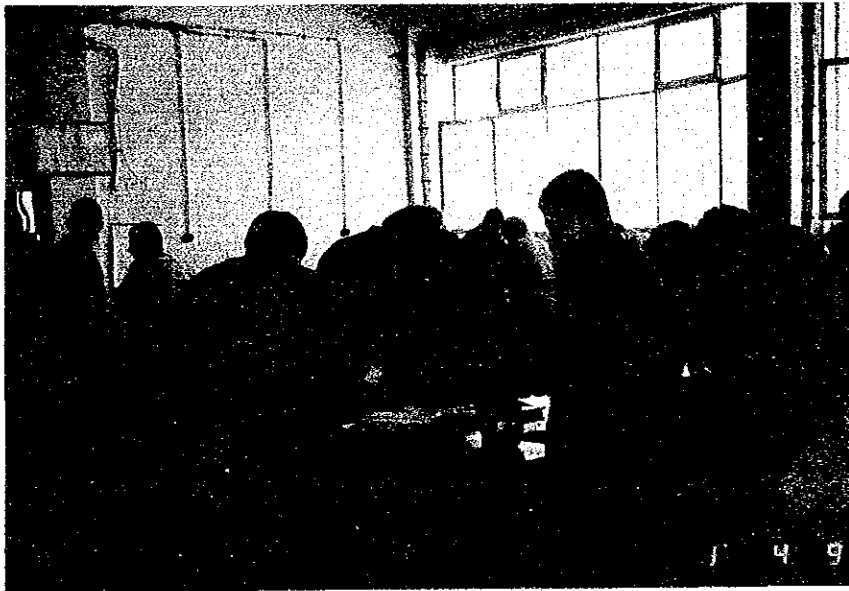
ミニッツ署名交換







ツヅラ職業技術高校



同校実習風景



# 目 次

序 文

写 真

1. 事前調査団の派遣	1
1-1 調査団派遣の経緯と目的	1
1-2 調査団の構成	1
1-3 調査期間・日程	1
1-4 主要面談者	4
2. 調査・協議の概要及びその結果	6
2-1 プロジェクトサイトの変更可能性	6
2-2 日本側協力計画案の協議	6
2-3 カウンターパートの確保	6
2-4 ツヅラ校建物改修計画	7
2-5 R/D案の協議	8
2-6 In-Service Training及びAdult Trainingコースの実施	9
2-7 その他の調査・協議結果	9
3. 今後の検討事項	10
4. 調査団所感	10
5. 付 属 資 料	11
I. ミ ニ ッ ツ	13
II. 対 処 方 針	43
III. 専門家の私用車等の持込に関する条項	49
IV. ツヅラ校現状レイアウト	51
V. 日本側質問状とそれに対するトルコ側回答	61
VI. ツヅラ校受変電設備調査結果	69
VII. 実習場電気容量計画案	71
VIII. 日本側作成手工具リスト	73



# 1. 事前調査団の派遣

## 1-1 調査団派遣の経緯と目的

本プロジェクトに関しては、予備調査団（60年10月）、事前調査団（61年6月）、及び長期調査員（61年9月）の派遣を通じ、また研修員として来日したトルコ側プロジェクト担当者Dr. Mahirogluとの折衝（62年3月）を通して、プロジェクトの骨格及びトルコ側の準備状況等についての詳細な調査・協議が行われてきた。

今般実施協議調査団による討議議事録（R/D）締結に先立ち、更に下記の点を協議・確認する必要があるとの判断から本件調査団が派遣されたものである。

- (1) プロジェクトサイト（再確認）
- (2) 日本側協力スケジュール（説明・協議）
- (3) トルコ側建物等整備進捗状況（確認）
- (4) R/D案（事前説明）
- (5) その他必要事項

## 1-2 調査団の構成

団 長	阿 部 信 司	国際協力事業団社会開発協力部次長
訓練計画	山 下 尚 子	労働省職業能力開発局海外協力課海外訓練協力官
施設・整備計画	加 藤 隆 久	雇用促進事業団神奈川技能開発センター電気科教導
業務調整	山 本 一 太	国際協力事業団社会開発協力部海外センター課

## 1-3 調 査 日 程

月日	曜日	日時	行 程	調 査 内 容
4/5	(日)	20:45 } 9:40 }	東京	移動(LH701)アンカレッジ経由  移動(LH1586)ミュンヘン経由
4/6	(月)	15:30	←フランクフルト→アンカラ	
4/7	(火)	11:00 } 12:00	在トルコ日本大使館	表敬訪問：日程及び調査方針打合せ（在アンカラ日本大使館、瀬公使深沢、池内両一等書記官）

		13:00 } 13:20 13:30 } 17:00	国家計画庁   教育・青少年・スポーツ省	表敬訪問：プロジェクトの進捗状況説明 (計画庁日本担当Mrs.Senay Eser 他) 調査目的説明・行動スケジュール打合せ (Mr. Ilhan Sezgin 同省次官補, 同省アドバイザーDr.Ahmet Mahiroglu.Mr. Mehmet Iyigün 職業技術教育局長他)
4/ 8	(水)	9:00 } 14:00 15:00 } 18:00 19:00 } 22:00	教育・青少年・スポーツ省   アンカラ市街   Hotel Bulvar Palas (ホテル, ブルバラパレス)	R/D案等説明(Dr. Ahmet Mahiroglu, Mr. Ali Hurer 職業技術教育局技術協力課長他)   物価調査   教育・青少年・スポーツ省次官主催による夕食会(Mr. Mehmet Iyigun 局長, Dr. Ahmet Mahiroglu 他)
4/ 9	(木)	10:00 } 11:00 11:15 } 11:30 12:00 } 13:00 14:00 } 15:00 15:15 } 18:00 } 19:30 19:45 } }	アンカラ→イスタンブール   イスタンブール教育・青少年・スポーツ局   Hotel Keban (ホテル・ケバン)   ホテル→ツツラ      ツツラ職業技術高校   ツツラ→ホテル      イスタンブール総領事館	移動(TK117)   表敬訪問(山中副領事同行。車中にて調査日程打合せ)      教育・青少年・スポーツ省より同行のDr. Ahmet Mahiroglu, イスタンブール教育・青少年・スポーツ局と調査日程打合せ  移動(借上車)   同校校長Mr.A. Ferit Obut表敬; 施設整備状況視察, 打合せ。   移動(借上車)     武田総領事主催夕食会(総領事, 中村,



		21:30		山中副領事他)
4/10	(金)	8:30 } 11:00 12:00 } 13:30 14:00 } 19:00	ホテル, 総領事館  Hôtel "Divan" (ホテル・ディバン)	ホテルにてツヅラ校建物改修案作成 総領事館にてイスタンブール県住居状況 聴取(総領事秘書: Nil Goymen)  アンカラより同行のDr. Ahmet Mahiro- glu に日本側建物改修案説明  アジア側住居地域視察
4/11	(土)	9:00 } 18:00		ヨーロッパ側住居地域及び子女教育施設 視察, イスタンブール市内物価調査
4/12	(日)	午前 17:45 } 18:40	イスタンブール→アンカラ	団内打合せ, 資料整理  移動 (TK146)
4/13	(月)	10:00  14:30 } 15:20 16:00	教育・青少年・スポーツ省  在トルコ日本大使館	建物改修案及びR/D案の検討(Dr. Ahmet Mahiroglu, Mr. Ali Hurer 他)  特権免除条項打合せ(阿部団長, 山本団 員のみ)
4/14	(火)	午前 14:00 } 15:20 15:30 } 16:00	ホテル  教育・青少年・スポーツ省  在トルコ日本大使館	ミニッツ案作成  ミニッツ案説明(Dr. Ahmet Mahiroglu, Mr. Ali Hurer 他)  和智在トルコ大使に進捗状況報告
4/15	(水)	9:00 } 18:00	教育・青少年・スポーツ省	ミニッツ検討, 資料収集(Dr. Ahmet Mahiroglu, Mr. Ali Hurer 他)

		18:40 20:00 }		ミニッツ署名 調査団長主催夕食会 (Mr. Ilhan Sezgin, Mr. Mehmet Iyigun, Dr. Ahmet Mahiroglu 他)
		22:00	Hotel Buyuk Sürmeli (ホテル・スルメリ)	
4/16	(木)	7:00		移動 (TK105) アンカラ → イスタンブール
		}	アンカラ	(TK883) イスタンブール → ウィーン
		11:00		
4/17	(金)	}		
		11:20		
		}		(KL258) アンカレッジ経由
4/18	(土)	14:35		
			東京	

#### 1-4 主要面談者リスト

教育・青少年・スポーツ省 (Ministry of National Education, Youth & Sports)

Dr. S. Ilhan Sezgin	Assist. Under Secretary
Dr. Ahmet Mahiroglu	Advisor to Assist. Under Secretary
Mr. Mehmet Iyigun	General Director of Vocational and Technical Education
Mr. A. Ramzi Sezgin	Director of Investment and Construction Department
Mr. Ali Hurer	Director of Technical Cooperation, General Directorate of Vocational and Technical Education
Mrs. Ayse Turna	Director of Investment, General Directorate of Vocational and Technical Education
Mr. A Ferit Obut	Principal of Istanbul-Tuzla Vocational and Technical High School
Mr. Ahmet AKtar	Directorate of National Education in Istanbul
Mr. Sebahattin Boluktepe	"

国家計画庁 (State Planning Organization)

Mr. Yurt Ibrahim	Special Adviser, Planning Dept.
Ms. Senay Eser	Expert, Reserch Dept.
Mrs. Meral Orgun	Expert, Reserch Dept.
Mrs. Nurethin Konakli	Expert, Reserch Dept.

在外公館

在アンカラ日本大使館

和 智 一 夫	大 使
川 瀬 正 夫	公 使
深 沢 淳 志	一 等 書 記 官
池 内 透	一 等 書 記 官

在イスタンブール総領事館

武 田 龍 夫	総 領 事
中 村 隆 幸	副 領 事
山 中 啓 介	副 領 事

## 2. 調査・協議の概要及びその結果

### 2-1 プロジェクトサイトの変更可能性について：

在アンカラ日本大使館表敬時に川瀬公使より、プロジェクトサイトに関してマチカ案を通すことはトルコ側の準備状況等から考えて困難であり、この時点で日本側から公式に変更希望を持ち出すのは適当でない旨の示唆があった。このことに留意しつつ、教育・青少年・スポーツ省表敬の際、本プロジェクトの最高責任者であるセズギン次官補にマチカ案についてのトルコ側の意向を打診したが、次官補の答えはツヅラでの協力を希望するというものであった。

### 2-2 日本側協力計画案の協議：

日本側より今後の協力のタイムスケジュールについて次の説明を行い、トルコ側の了解を得た。

- (1) R/Dのサインは6月下旬派遣予定の実施協議ミッションが行う。
- (2) 専門家派遣については、チーフ・アドバイザー、調整員及び各科専門家3人計5人を62年10月から派遣する予定とする。
- (3) 研修員の受入は、本年度電気・電子計2名の予定とし、研修期間は技術研修6ヶ月＋日本語研修とする。これについてトルコ側は9月頃から研修員の派遣を行いたい旨の意向を示した。
- (4) 供与機材は日本側予算の都合から分割送付となり、第一陣の到着は、本年度末になる見込である。
- (5) コースの開講時期は1988年9月とする。
- (6) 協力期間は5年間、R/Dの発効日はR/D署名日から10月までの間とし、次回調査団が協議の上、決定することとする。

### 2-3 カウンターパートの確保について：

日本側より専門家早期派遣の趣旨、開講までの準備業務について説明を行うとともに、協力期間中のトルコ人カウンターパートの最低必要人数を提示、トルコ側の努力を求めた。これに対しトルコ側は日本での研修者を除き、まず日本人専門家着任時に4名以上の実習担当教師（英語能力を有し、かつ実務経験3年以上）を配置、コース開講時まで彼らを専門家のフルタイムのカウンターパートとして張付けることを約束した。

さらにトルコ側はコース開講後も逐次必要人数を増員、かつそれらの実習担当教師が日本人専門家より技術移転を受ける時間の確保についても配慮する旨言明し、併せて、彼らの転

勤・転職の防止についても努力することを約した。

#### 2-4 ツツラ校建物改修計画について：

##### (1) 教室：

日本側よりコース開講に伴い逐年必要となる一般教室の数を提示，トルコ側の対応について尋ねたところ，トルコ側は，予算の制約上校舎の新築は困難であるため，まず現在実施中の金属コースを廃止，さらに必要な場合には，現在実施中の金属コース及び自動車コースの一方又は双方を他校に移しても必要なスペースを確保する旨の意向を示した。

ツツラ校校長は金属コース実習場を改修して教室とするレイアウトをすでに作っており，これを日本側に示した。

##### (2) 実習場：

本プロジェクトの実習場については，前回長期調査時に日本側レイアウト案を作成，トルコ側に提示済であった。しかしながら今回の調査においてトルコ側に既存コースの移転計画があることが判明し，より広いスペースが確保出来る見通しが出来た上，前回トルコ側の提示した建物原図にミスがあり，教室として不適当な部分が発見された事情もあり，結局第2次日本側レイアウト案（付属資料Ⅰ，ANNEXⅡ参照）を作成，これをトルコ側に提示した。

主な変更点は以下の通り：

- (イ) コンピュータ教室の間仕切りの変更及び拡大
- (ロ) オーディオビジュアル室の移設（一般教室予定階に設置）
- (ハ) 製図室の設置（一般教室予定階）
- (ニ) 屋内配線実習室の移設（現自動車コース実習棟に設置）

##### (3) 専門家の部屋：

日本人専門家の執務室を管理棟に設けるようトルコ側に要求した。

##### (4) 受電施設：

ツツラ校の受電施設を点検し，所要の容量があることを確認した。（付属資料Ⅴ参照）

##### (5) 改修工事：

仕切り壁等の施工材料，屋内配線方法，コンピュータセクションの床工事，下り天井等について協議を行った。

上記に関し，教育・青少年・スポーツ省投資・建設部は次のとおり回答した。

- (1) 早急にツツラ校の現地調査を行い，日本側案を参考にしてトルコ側案を87年6月末までに作成，日本側の承認を求めた上着工し，同年12月末までに竣工させる。
- (2) コンピュータセクションの床及び天井工事については，日本側の詳細屋内配線案を受け

取った上着工し、88年9月までに完成させる。

- (3) 日本人専門家の執務室は管理棟内に87年10月までに設置する。

## 2-5 R/D案の協議

日本側より提示されたR/D案については、以下の点を除き、トルコ側の合意を得た。(付属資料I, ANNEX III参照)

- (1) 専門家及びその家族に対する医療の無料提供。
- (2) 専門家及びその家族の住居の無料提供
- (3) R/D案中にあるトルコ側カウンターパート及び管理要員表

(これについてはトルコ側より同国の学校制度で認められている職種、人数に変更して欲しいとの要望があり、次回ミッションで決定することになった)

以上の点については、トルコ側から第三国等に付与されている特権免除等に劣るものでなく、さらに同国の実情からして止むを得ないと考えられることから、R/Dより適宜削除、修正する柔軟な対応が適当であると思われる。

尚、これ以外の特権免除・便宜供与事項等についての調査結果は以下の通り：

- (1) 日本人専門家の私用車等の持込について：

- (i) トルコ共和国の関税法により、次の物品の持込については使用後の持出を条件として専門家到着の2ヶ月前、又は6ヶ月後迄に教育・青少年・スポーツ省を通じて関税当局に手続することで無税扱いとすることが出来る。(付属資料II参照)

対象物品：専門家一家族につき、自動車、オープン、冷蔵庫、アイスボックス、洗濯機、ドライヤー、レコードプレーヤー、テーブルデッキ、ビデオ、T.V.、エアーコーディショナー、カメラ、フィルム、プロジェクター各1台、空気清浄器2台、その他小型電気器具。

尚、上記の期間に持込の手続が不可能な場合は、教育・青少年・スポーツ省に申請することで、手続期間を延長することが出来る。

- (ii) 自動車については持込後3ヶ月以内にトルコ共和国のTuring Automobile Clubに登録申請して“Blue Card”の交付(手数料44,800T/L≒8,900円)を受けるとともに、車の型・年代に応じたDeposit(保証金)を支払う必要がある。(これについては、教育・青少年・スポーツ省の保証によりDepositの免除を受けられる可能性あり)この場合、2年に1回、2月と7月に自動車使用税を支払う必要があるが、その額は小額である。(4,000~8,000T/L程度)

- (2) 専門家の通勤及びプロジェクトサイトでの活動に必要な車については、トルコ側が運転手付の公用車1台を用意する。

- (3) 専門家の公用旅行に伴う旅費の支給については、トルコ側で引続き検討する。同一州内の公用旅行についてはトルコ側で車を提供する用意があるとのことであった。

## 2-6 In-Service Training 及び Adult Training コースの実施について：

トルコ側の具体的な計画は未決定のままであるが、将来本プロジェクトの機材を利用してこれらのコースを実施したい希望があり、これについて日本側の了解を得たい旨の要請があった。日本側としては本コース（電気・電子・コンピュータ科学）の実施に支障を及ぼさない範囲で協力する旨回答した。

## 2-7 その他の調査、協議結果

- (1) トルコ側に A<sub>1</sub>～A<sub>4</sub> フォームの早期提出を促した。
- (2) 荷揚港（イスタンブール港）、荷受人（ツヅラ校校長）の確認を行った。
- (3) R/D の署名者（Dr. S. Ilhan Sezgin, 教育・青少年・スポーツ省次官補）を確認した。
- (4) 日本側で作成した所要の手工具リスト（付属資料Ⅶ参照）をトルコ側に提出、トルコ側負担で調達可能なものについて検討するよう要請した。（現在検討中）
- (5) トルコ側プロジェクト担当者マヒログ氏が来日した際、日本側から提出していた予算・建物の改修状況等に関する質問状（付属資料Ⅳ-A）に対するトルコ側の回答（付属資料Ⅳ-B）を受け取った。
- (6) ヨーロッパ側・アジア側における住居環境については、前回、長期調査員チームにより詳細な調査が行われており、今回両地域において追加調査を実施したが、次の点を除き特に目新しい情報は得られなかった。
  - (i) アジア側地区の FENERBAHCE（フェナラバチェ）から BOSTANIC（ボスタンジエ）にかけての地域のうち、バクダッド通りと海岸線の間エリアにはショッピング・アーケード、若者向けの洒落たブティック、高級レストランなどが立ち並び、新興の高級住宅地を形成している。
  - (ii) イスタンブール総領事館において、総領事秘書 Miss Nil Goymen より住宅事情についての聴取を行った際得た情報によれば、平均的な住宅の賃貸料は、アジア側地区で、床面積 120 m<sup>2</sup>程度で約 1,500 U.S. ドル/月、ヨーロッパ側地区ではその約 1.5～2 倍が相場であるとのことであった。これは前回調査の際に得た数字（ヨーロッパ側：床面積 150～200 m<sup>2</sup>程度で 1,200 US ドル/月以上）に比べかなり高いものであり、トルコ経済の慢性的インフレ状態を示している。
- (7) 前回調査に引続き、アンカラ・イスタンブール市街において簡単な物価調査を行ったが、食料品についてはかなりの物価上昇が見られた。

### 3. 今後の検討事項及び計画

- (1) コンピュータセクションの配線図，床上工事，天井工事等に関するトルコ側への指示案を検討，86年6月までに作成する。
- (2) 86年6月までに日本側に提出される予定のトルコ側改修計画案を検討する。
- (3) 日本側から提出した手工具リストのうち，トルコ側で負担可能なものについての教育・青少年・スポーツ省からの回答が，R/Dミッション派遣前までにあれば，その内容について検討を行う。
- (4) 同年6月末に派遣予定のR/Dミッション派遣に必要な諸準備を行う。
- (5) 機材決定のための機材委員会の設置を行う。
- (6) 研修員受入（1987年度2名を予定）を行う。
- (7) 専門家派遣（1987年10月予定）を行う。

### 4. 調査団所感

トルコ国に越任した日本人専門家が第一に直面するであろうと思われるのがコミュニケーションの問題である。約11日間のトルコ滞在中に度々感じられたことであるが，英語を理解するトルコ人の数はきわめて少ない。本プロジェクトの担当省である教育・スポーツ・青少年省の中ですら十分な英語能力を持った人間は少なく，トルコ側プロジェクト関係者との打合せの際にも，英語を堪能に話せるのは同省のアドバイザーであるマヒログ教授他若干名という状況であり，またプロジェクトサイトであるツヅラ校関係者の中でも，英語の出来る教師はほとんど見かけなかった。日本人専門家のカウンターパートとなるべき人材については十分な英語能力を有する教師を配置することをトルコ側が確約しているものの，仕事，生活の両面から考えて，派遣専門家が現地語（トルコ語）の能力を養っておくことは必須のことと思われる。

次に，本件が1,000人近い生徒を抱えた大規模なプロジェクトになるということである。トルコ側はコース開講前には十分な資格を有する4人の実習教師をフルタイムのカウンターパートとして配置し，開講後も年々必要とされる人数を増員してゆくことを明言しているが本コースの規模，トルコ側カウンターパート及び日本人専門家の時間的制約等を考えれば，カウンターパートの育成を効果的に効率良く行うための技術移転計画についても一度両サイドでじっくり協議してゆくことが必要であろう。

第三に，日本人専門家の通勤の問題がある。子女教育等の必要性から専門家がヨーロッパ側に住居を定めた場合，交通渋滞のためサイトへの通勤に長時間を要することになるが，現地サ



イドとも十分相談の上、出勤時間を調整する等何らかの解決策を見つけ出すことが必要となる  
う。第2ボスボラス橋の完成が待たれる。

## 5. 付 属 資 料



付 属 資 料 I

( ミ ニ ッ ツ )



THE MINUTES OF DISCUSSIONS  
BETWEEN THE JAPANESE PRELIMINARY SURVEY TEAM  
AND THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF  
THE REPUBLIC OF TURKEY  
ON THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION FOR  
THE ISTANBUL-TUZLA VOCATIONAL AND TECHNICAL HIGH SCHOOL PROJECT

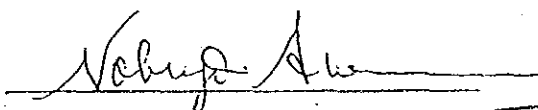
The Japanese Second Preliminary Survey Team organized by the Japan International Cooperation Agency and headed by Mr. Nobuji Abe visited the Republic of Turkey from April 7, 1987 to April 15 1987, for the purpose of explaining the Japanese technical cooperation plan regarding the Istanbul-Tuzla Vocational and Technical High School Project (hereinafter referred to as "The Project") as well as observing the state of preparation of Turkish side.

During its stay in the Republic of Turkey, the Team carried out a survey on the Project site and had a series of discussions with the Turkish authority of the Ministry of National Education Youth and Sports.

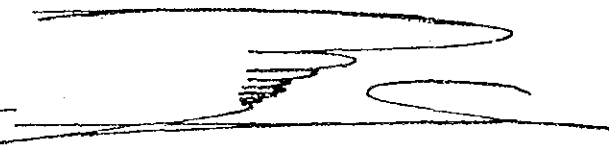
As a result of discussions, both parties came to understanding and agreement concerning the matters referred to in the document attached hereto.

Ankara,

April 15, 1987



Mr. Nobuji Abe  
Leader, Japanese  
Preliminary Survey Team  
Japan International Cooperation  
Agency, JAPAN



Mr. Mehmet İyigün  
General Director  
Ministry of National Education  
Youth and Sports  
The Republic of Turkey

## ATTACHMENTS

1. Japanese side will send the Implementation Survey Team to Turkey in order to sign the Record of Discussions of the Project (R/D) at the end of June 1987.
2. (1) After the signing of R/D, Japanese side will receive two (2) technical teachers for the training in Japan as future counterpart personnel to Japanese experts in 1987 Japanese Fiscal Year and will dispatch five (5) Japanese experts to Turkey in October 1987.  
(2) Japanese side will receive at least two (2) technical teachers for the training in Japan for each year during the technical cooperation period of the Project while maintaining five (5) Japanese experts during the same period.
3. Japanese side will complete the procurement of the first batch of equipment in 1987 Japanese Fiscal Year (as shown at Annex 1) and will complete the rest within the succeeding Japanese Fiscal Years.
4. Turkish side will secure the budget for smooth implementation of the Project.
5. Three courses (electrical, electronics and computer science) of the Project will be started in September 1988.
6. (1) Turkish side will assign at least four (4) technical teachers by October 1987 as full time counterpart personnel to the Japanese experts.  
(2) Turkish side will continue to assign the necessary number of counterpart personnel in accordance with the progress of the Project as well as providing them the necessary time for smooth transfer of technology.

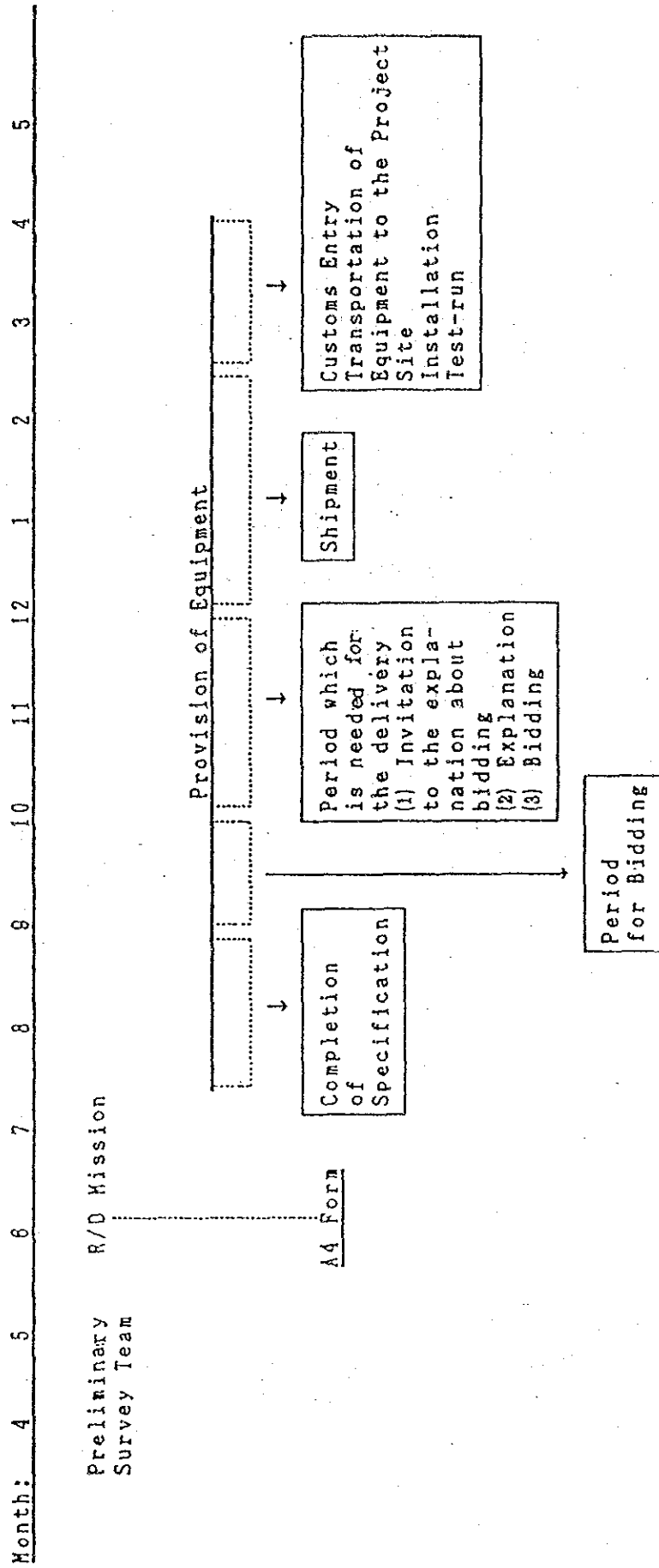
./...

7. (1) Turkish side will draw up its own plans concerning the renovation work of workshops based on the Japanese proposed plans (Annex 11) by the end of June, 1987.
  - (2) After obtaining the consent of Japanese side to its own plan, Turkish side will start construction work and will complete the renovation of all workshops except the floor and the ceiling of the computer section by the end of December 1987.
  - (3) After obtaining the wiring installation plan prepared by Japanese side, Turkish side will complete the floor elevation and lowering of the ceiling of computer section by September 1988.
  - (4) Turkish side will provide the offices for Japanese experts in the administration block by October 1987.
- 
8. (1) Paragraph 11 (3), concerning free medical services in the R/D draft (Annex 111), prepared by the Japanese side, will be deleted on grounds that the Turkish side cannot provide them.
  - (2) Paragraph VI (4), concerning free accommodation will also be modified on the same grounds. However, the Turkish side will assist the Japanese experts in finding suitable accommodation for themselves and their families.
  - (3) The list concerning Assistant Training Personnel and Administrative Personnel stated under article IV (5) and (6) will be modified.
  - (4) The rest of the articles in the R/D draft will be reserved, as they are, for signature by both sides.
- 
9. The Project site may be used as an in-service and/or adult training center and the Japanese side may provide assistance in these activities.

ANNEX I

Tentative Schedule Concerning the Provision of Equipment (1st Batch)

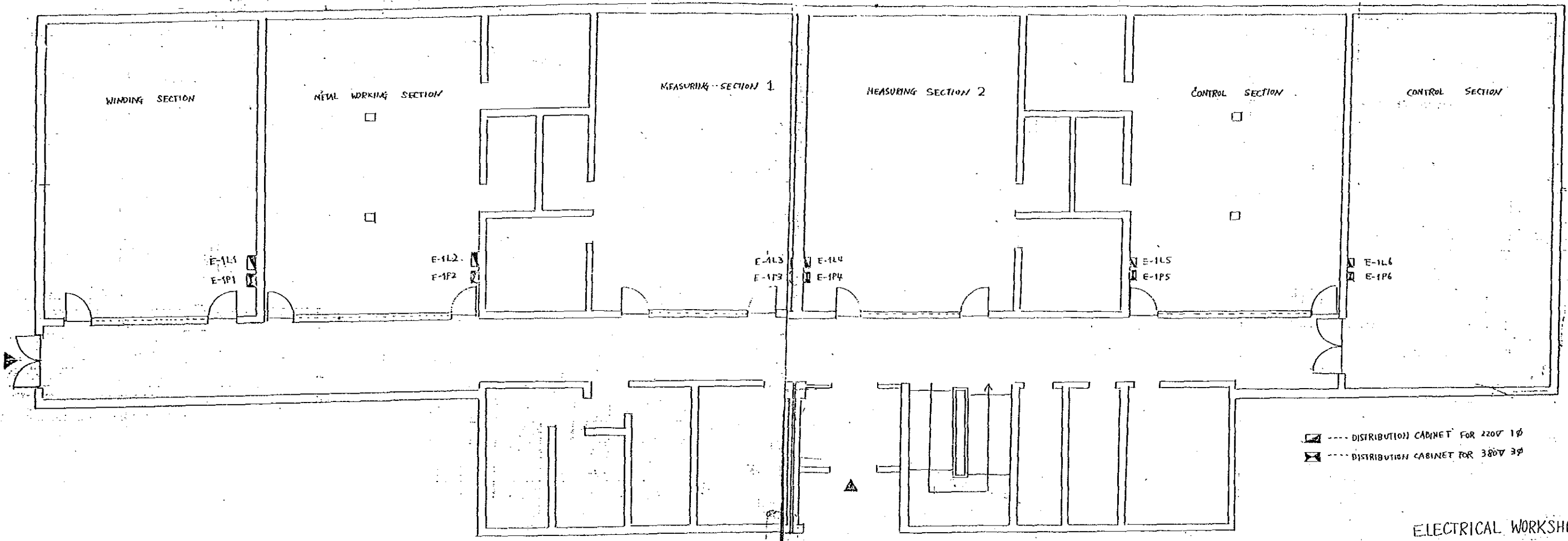
1987





ANNEX II

ELECTRICAL WORKSHOP

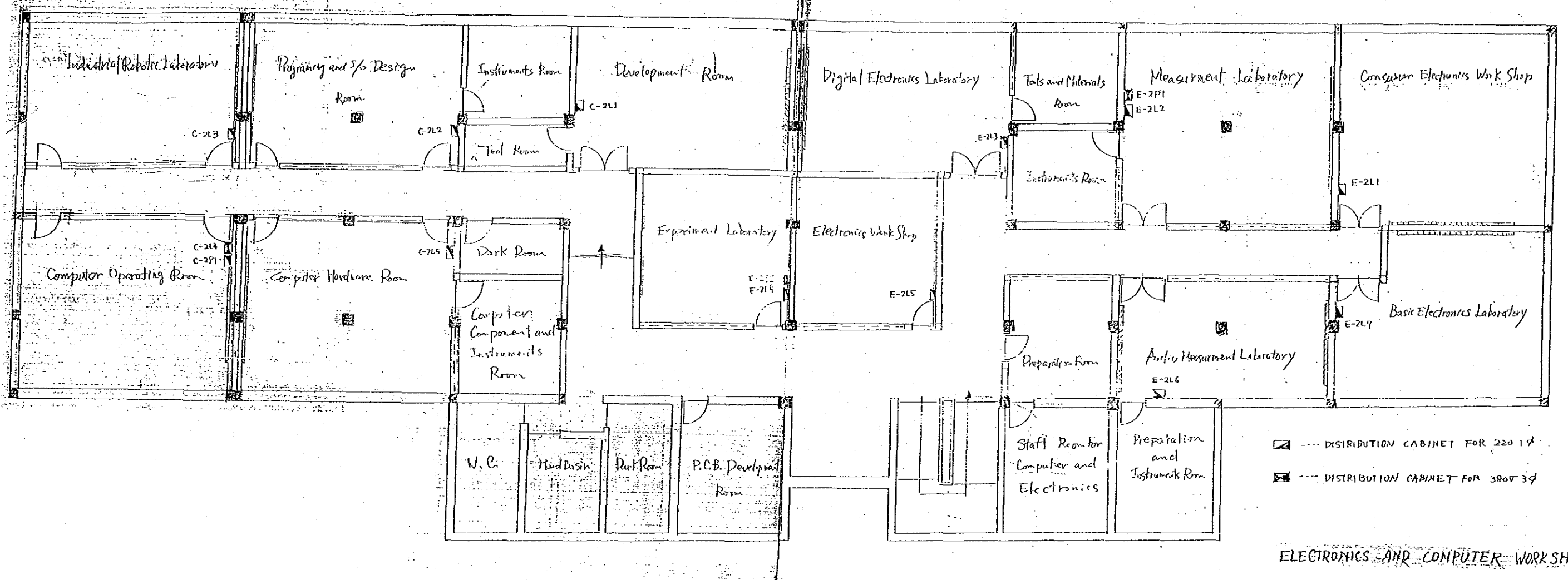


□ --- DISTRIBUTION CABINET FOR 220V 1φ  
⊠ --- DISTRIBUTION CABINET FOR 380V 3φ

ELECTRICAL WORKSHOP

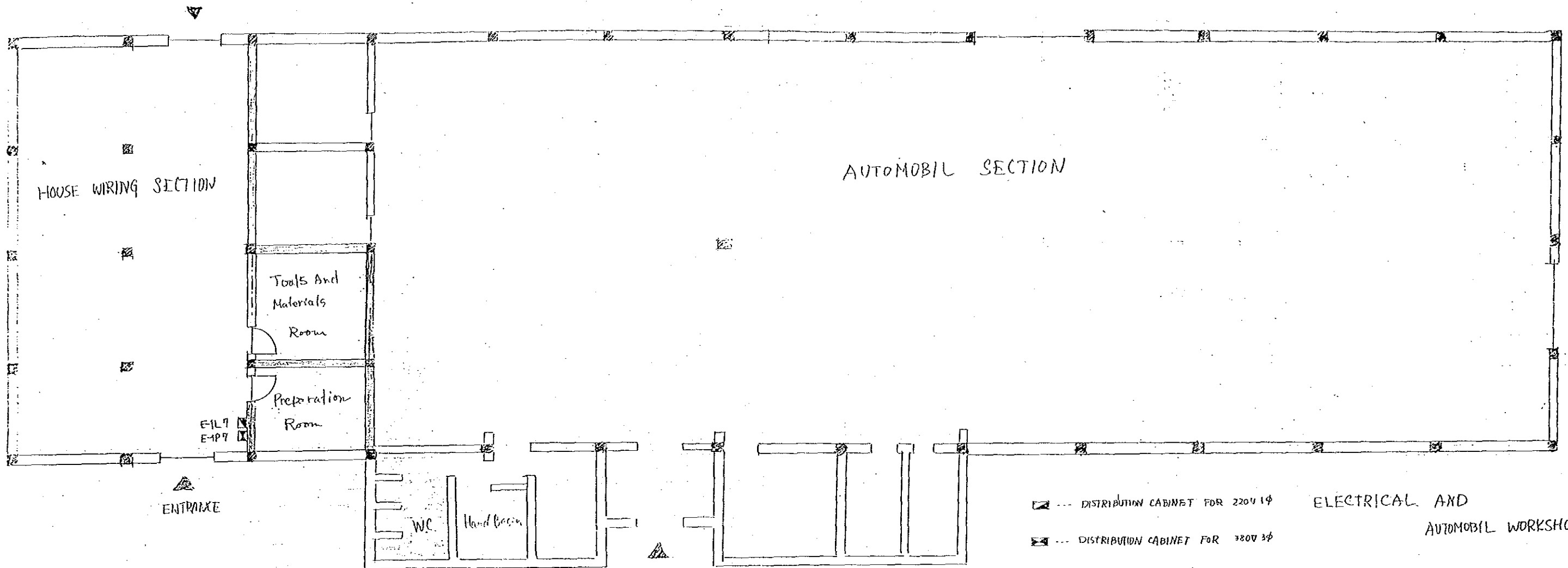


COMPUTER AND ELECTRONICS WORKSHOP

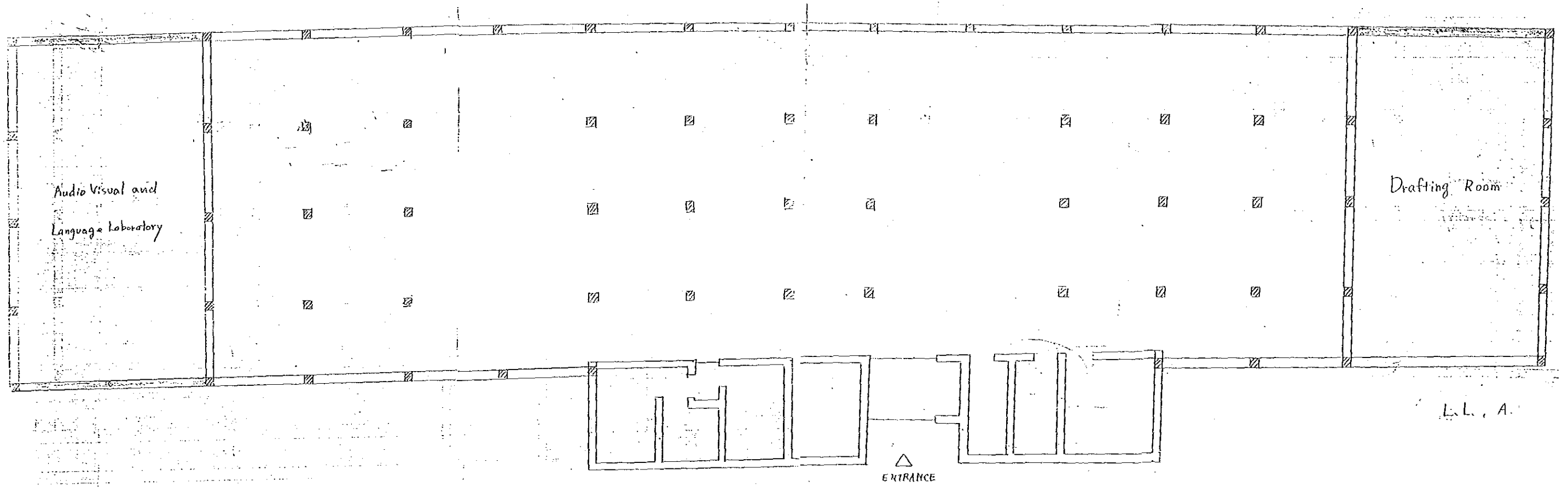


ELECTRONICS AND COMPUTER WORKSHOP













ANNEX III (DRAFT)

THE RECORD OF DISCUSSIONS  
BETWEEN THE JAPANESE IMPLEMENTATION SURVEY TEAM  
AND THE AUTHORITIES CONCERNED OF THE GOVERNMENT OF  
THE REPUBLIC OF TURKEY  
ON THE JAPANESE TECHNICAL COOPERATION FOR  
THE ISTANBUL-TUZLA VOCATIONAL AND TECHNICAL HIGH SCHOOL PROJECT

The Japanese Implementation Survey Team (hereinafter referred to as the "Team") organized by the Japan International Cooperation Agency (hereinafter referred to as "JICA") and headed by Mr. \_\_\_\_\_ visited the Republic of Turkey from \_\_\_\_\_ to \_\_\_\_\_ for the purpose of working out the details of the technical cooperation program concerning the Istanbul-Tuzla Vocational and Technical High School Project in the Republic of Turkey.

During its stay in the Republic of Turkey, the Team exchanged views and had a series of discussions with the Turkish authorities concerned in respect of the desirable measures to be taken by both Governments for the successful implementation of the above-mentioned Project.

As a result of the discussions, both parties agreed to recommend to their respective Governments the matters referred to in the document attached hereto.

Ankara,  
\_\_\_\_\_, 1987

---

Mr.  
Leader, Implementation Survey Team  
Japan International Cooperation  
Agency, JAPAN

---

Mr.  
Ministry of National Education,  
Youth and Sports,  
the Republic of Turkey.

## THE ATTACHED DOCUMENT

### I . TECHNICAL COOPERATION BETWEEN BOTH GOVERNMENTS

1. The Government of Japan and the Government of the Republic of Turkey will cooperate with each other in implementing the Istanbul-Tuzla Vocational and Technical High School Project (hereinafter referred to as "the Project") for the purpose of providing vocational and technical training in the fields of Electrical, Electronics and Computer Science and thus contributing to the manpower development of the Republic of Turkey.

The Project will be implemented in accordance with the Master Plan which is given in ANNEX I .

### II . DISPATCH OF JAPANESE EXPERTS

1. In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take necessary measures through JICA to provide at its own expense services of the Japanese experts as listed in ANNEX II through the normal procedures under the technical cooperation scheme of the Government of Japan.

The Japanese experts referred to in II.1. above and their families will be granted in the Republic of Turkey the privileges, exemptions and benefits no less favourable than those accorded to experts of third countries or of international organizations performing similar missions in the Republic of Turkey. And the privileges, exemptions and benefits will include the following:

- (1) Exemption from income tax and charges of any kind imposed on or in connection with the living allowances remitted from abroad in relation with the implementation of the Project;
- (2) Exemption from import and export duties and other any charges imposed in respect of personal and household effects, including ~~one~~ <sup>one</sup> motor vehicle per family, which may be brought into from abroad or taken out of the Republic of Turkey;
- (3) Free medical services and facilities to the Japanese experts and their families;

### III. PROVISION OF MACHINERY AND EQUIPMENT

1. In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take necessary measures through JICA to provide at its own expense such machinery, equipment and other materials (hereinafter referred to as "the Equipment") necessary for the implementation of the Project as listed in ANNEX III through the normal procedures under the technical cooperation scheme of the Government of Japan.
2. The Equipment will become the property of the Government of the Republic of Turkey upon being delivered c.i.f. to the Turkish authorities concerned at the ports and/or airports of disembarkation, and will be utilized exclusively for the implementation of the Project in consultation with the Japanese experts referred to in ANNEX II.

### IV. TRAINING OF TURKISH PERSONNEL IN JAPAN

1. In accordance with the laws and regulations in force in Japan, the Government of Japan will take necessary measures through JICA to receive at its own expense the Turkish personnel connected with the Project for technical training in Japan through the normal procedures under the technical cooperation scheme of the Government of Japan.
2. The Government of the Republic of Turkey will take necessary measures to ensure that the knowledge and experience acquired by the Turkish personnel from technical training in Japan will be utilized effectively for the implementation of the Project.

### V. SERVICES OF TURKISH COUNTERPART AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL

1. In accordance with the laws and regulations in force in the Republic of the Turkey, the Government of the Republic of Turkey will take necessary measures to secure at its own expense the necessary services of Turkish counterpart and administrative personnel as listed in ANNEX IV.
2. The Government of the Republic of Turkey will allocate the necessary number of suitably qualified personnel corresponding to each Japanese

expert to be dispatched by the Government of Japan as specified in ANNEX II for the effective and successful transfer of technology under the Project.

## VI . MEASURES TO BE TAKEN BY THE GOVERNMENT OF THE REPUBLIC OF TURKEY

1. In accordance with the laws and regulations in force in the Republic of Turkey, the Government of the Republic of Turkey will take necessary measures to provide at its own expense:

- (1) Land, buildings and facilities as listed in ANNEX V;
- (2) Supply or replacement of machinery, equipment, instrument, vehicles, tools, spare parts and any other materials necessary for the implementation of the Project other than those provided through JICA under III above;
- (3) Transportation facilities and travel allowance for the official travel of Japanese experts within the Republic of Turkey;
- (4) Suitably furnished accommodations for the Japanese experts and their families;

2. In accordance with the laws and regulations in force in the Republic of Turkey, the Government of the Republic of Turkey will take necessary measures to meet:

- (1) Expenses necessary for the transportation of equipment within the Republic of Turkey as well as for the installation, operation and maintenance thereof;
- (2) Customs duties, internal taxes and any other charges, imposed on the Equipment in the Republic of Turkey ;
- (3) All running expenses necessary for the implementation of the Project;

## VI. ADMINISTRATION OF THE PROJECT

1. The General Director of Vocational and Technical Education, Ministry of National Education, Youth and Sports will bear overall responsibility for the implementation of the Project.
2. The Director of the Istanbul-Tuzla Vocational and Technical High School Project, as the Head of the Project, will be responsible for the administrative and managerial matters of the Project.
3. The Japanese Chief Advisor will provide necessary recommendation and advice on technical and administrative matters concerning the implementation of the Project to the Head of the Project, if necessary to the General Director of Vocational and Technical Education.
4. The Japanese experts will give necessary technical guidance and advice to the Turkish counterpart personnel on matters pertaining to the implementation of the Project, especially on training program and curriculum development.
5. For the effective and successful implementation of the Project, a Joint Committee will be established with the function and composition as referred to ANNEX VI.
6. The organization chart of the Project is shown in ANNEX VII.

#### VIII. CLAIMS AGAINST JAPANESE EXPERTS

The Government of the Republic of Turkey undertakes to bear claims, if arises, against the Japanese experts engaged in the Project resulting from, occurring in the course of, or otherwise connected with the discharge of their official functions in the Republic of Turkey except for those arising from the willful misconduct or gross negligence of the Japanese experts.

#### IX. MUTUAL CONSULTATION

There will be mutual consultation between the two Governments on any major issues arising from, or in connection with this Attached Document.

#### X. TERM OF TECHNICAL COOPERATION

The duration of the technical cooperation for the Project under this Attached Document will be \_\_\_\_\_ years from \_\_\_\_\_, \_\_\_\_\_. However, there will be a general review by the Joint Committee on the progress of the implementation of the Project during the third year of the cooperation period in order to assess whether the term of cooperation should be modified for the successful implementation of the Project.

## ANNEX I

### I. MASTER PLAN

#### 1. Objectives of the Project

The objective of the Project is to foster qualified technicians in the fields of Electrical, Electronics and Computer Science by providing vocational and technical training.

#### 2. Objectives of the Japanese Technical Cooperation

The objective of the Japanese technical cooperation is to assist and advise the Turkish counterpart personnel in conducting training programs in the trades shown in table-1.

The training will be carried out by the Turkish counterpart personnel.

The scope of the Japanese expert's work does not include general subjects.

ANREX II.

II. JAPANESE EXPERTS

1. Chief Advisor

2. Coordinator

3. Experts in the fields of Electrical, Electronics and Computer Science

4. Short-term experts will be dispatched, when necessity arises, for the smooth implementation of the Project.



Table 1

1. Vocational High School and Technical High School

COURSES	ENROLLMENT/DURATION				ENTRY REQUIREMENT
	I	II	III	IV	
Electrical	90 (30+30+30)	60 (30+30)	60 (30+30)		Junior High School Graduates
		30	30	30	
Electrical	90 (30+30+30)	60 (30+30)	80 (30+30)		
		30	30	30	
Computer Science	60 (30+30)	60 (30+30)	60 (30+30)	60 (30+30)	
Total	240	240	240	120	

Note: (1) In the first year, the students of the Electrical, Electronics and Computer Science courses take the same classes.

(2) After the completion of the first-year courses, students will be placed into the Vocational High School or the Technical High School depending upon their grades.

2. Adult Education Center

3. In-Service Training Center

ANNEX III

III. LIST OF EQUIPMENT

1. Electrical

- (1) Motor-Generator
- (2) Transformer
- (3) Voltage Regulator
- (4) Winding Machine
- (5) Sequence Training Kit
- (6) Others

2. Electronics

- (1) Oscilloscope
- (2) Television Set
- (3) Function Generator
- (4) D.C. Power Supply
- (5) Logic Circuit Trainer
- (6) Others

3. Computer Science

- (1) Digital Circuit Training Board
- (2) Micro Computer Educational Module
- (3) Personal Computer
- (4) Digital Multimeter
- (5) Educational Robot
- (6) Others

ANNEX IV

IV. LIST OF TURKISH COUNTERPART AND ADMINISTRATIVE PERSONNEL

1. Director of the Project
2. Deputy Directors of the Project
3. Counterpart Personnel (Lecturers and Instructors)
  - (1) Electric
  - (2) Electronics
  - (3) Computer Science
5. Assistant Training Officers
6. Administrative Personnel
  - (1) Executive Officer
  - (2) Senior Clerical Officers
  - (3) Clerical Officers
  - (4) Accounting Officer
  - (5) Storekeepers
  - (6) Guards
  - (7) Typists
  - (8) Secretarys
  - (9) Drivers
  - (10) Maintenance Staff

ANNEX V

V. LAND, BUILDING AND FACILITIES

1. Land for the Istanbul-Tuzla Vocational and Technical High School Project

2. Building and Facilities

(1) Administration Block

- (a) Director's Room
- (b) Deputy Director's Room
- (c) Chief Advisor's Room
- (d) Coordinator's Room
- (e) Meeting Room
- (f) Photo Copy & Duplication Room
- (g) Administration Room
- (h) Language Laboratory
- (i) Audio Visual Room
- (j) Others

(2) Workshop Block

- (a) Class Room
- (b) Lecturer's Rooms
- (c) Japanese Expert's Rooms
- (d) Preparation Room
- (e) Material Room
- (f) Tools Room
- (g) Drafting Room
- (h) Experiment Laboratory
- (i) Consumer Electronics Workshop
- (j) Electrical/Electronics Workshop
- (k) Fabrication Workshop
- (l) House Writing Workshop
- (m) Computer Operating Room
- (n) Others

## ANNEX VI

### VI. JOINT COMMITTEE

#### 1. Functions

The Joint Committee will meet at least once a year and whenever necessity arises, and work:

- (1) To formulate the annual work plan of the Project in line with the Tentative Schedule of Implementation formulated under the framework of this Record of Discussions;
- (2) To review the overall progress of the technical cooperation program as well as the achievements of the above-mentioned Annual Work Plan;
- (3) To review and exchange views on major issues arising from or in connection with the technical cooperation program.
- (4) Other functions

#### 2. Composition

(1) Chairman: General Director of Vocational and Technical Education, Ministry of National Education, Youth and Sports

#### (2) Members

##### (a) Turkish side:

- (i) Director of the Project
- (ii) Deputy Director of the Project
- (iii) Heads of the Electrical, Electronics and Computer Science Courses
- (iv) Representative of the Ministry of National Education, Youth and Sports
- ( V ) Other personnel designated by the chairman

(b) Japanese Side;

(i) Chief Advisor

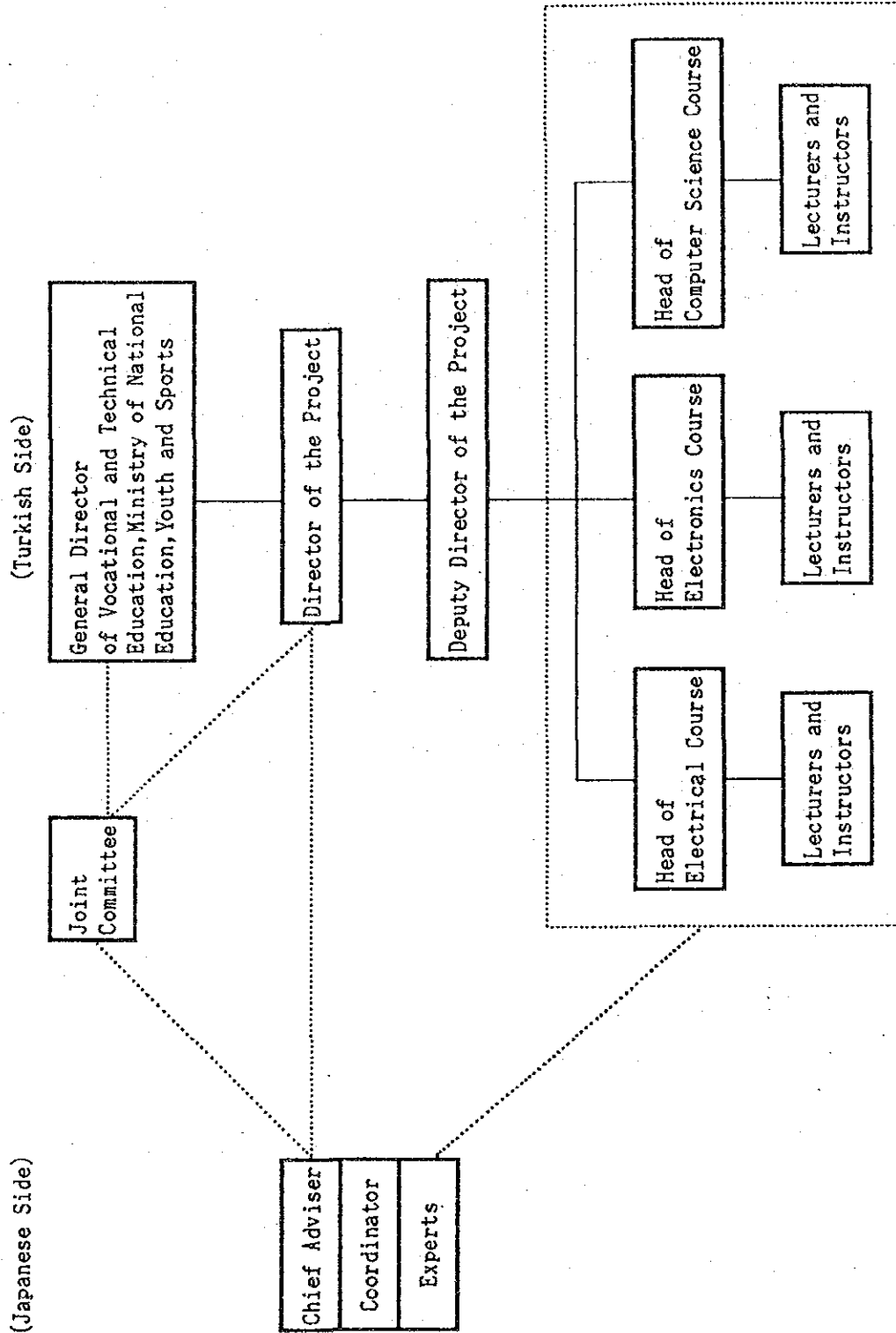
(ii) Coordinator

(iii) Experts designated by the Chief Advisor, if necessary.

( v ) Personnel concerned to be dispatched by JICA, if necessary.

Note: Officials of the Embassy of Japan in the Republic of Turkey may attend the Joint Committee as observers.

FUNCTIONAL CHART OF PROJECT





TENTATIVE SCHEDULE OF IMPLEMENTATION

YEAR | 1987 | 1988 | 1989 | 1990 | 1991 | 1992 |

Item						
Term of Technical Cooperation	_____					
Operation of Courses	_____					
1, Vocational High School	_____					
(1) Electrical	_____					
(2) Electronics	_____					
2, Technical High School	_____					
(1) Electrical	_____					
(2) Electronics	_____					
(3) Computer Science	_____					
JAPANESE SIDE	_____					
Dispatch of Japanese Experts	_____					
1, Chief Advisor	_____					
2, Coordinator	_____					
3, Experts in the field of; Electrical, Electronics and Computer Science	_____					
4, Short Term Experts	_____					

(When Necessity Arises)

Item	1987	1988	1989	1990	1991	1992
Provision of Equipment						
Training of Turkish Personnel in Japan						
<b>TURKISH SIDE</b>						
Service of Turkish Counterpart						
1. Director						
2. Deputy Director						
3. Lecturers and Instructors						
4. Assistant Training Officers						
5. Administrative Personnel						
Budget for the Implementation of the Project						

Note: (1) This is tentatively formulated on the assumption that the necessary budget will be acquired.  
(2) This schedule is subject to change within the scope of the Record of Discussions, if necessity arises.

付 属 資 料 Ⅱ

( 对 処 方 針 )



ツヅララ職業技術高等学校プロジェクト第2次事前調査：対処方針(案)

No	調査・確認事項	問題点	対応方針(案)
1.	プロジェクトサイトの再確認	長期調査時、マチカ(案)浮上、公電第10号(62.1.8付)によりツヅラ(案)確認。	「ト」側責任者(教育省：セズキン次官補)にプロジェクトサイトについての再確認を行う。
2.	センター正式名称	プロジェクトサイトを確定する必要がある。	ツヅラ校をサイトと確定した場合： (英) Istanbul-Tuzla Vocational and Technical High School (日) ツヅラ職業技術訓練高校 トルコ語の名称も確認する。 (英) Istanbul-Tuzla Vocational and Technical High School Project
3.	プロジェクト正式名称		
4.	R/D 署名者		(日) ツヅラ職業技術訓練高校プロジェクト トルコ側：教育・青少年・スポーツ省次官補：Dr. Ilhan Sezgin 日本側：R/D調査団長
5.	R/D 使用言語		英語(トルコ語は不可)
6.	R/D 発効日		昭和62年10月1日(「ト」側の諸要請行為可能性確認)
7.	協力期間		5年間
8.	教育コース内容 (1) コース名		Vocational High School Electrical Electronics Technical High School Electrical

		<p>「ト」側は、9月開講を希望しているがR/Dミッション、機材供与等のスケジュールを考えると困難。</p>	<p>Electronics Computer Science</p> <p>※ Adult Training Center (成人教育), In-Service Training (再教育) について、内容、目的等を確認する。</p> <p>中卒者 (8年間修学終了者)</p> <p>Vocational Lycees : 3年間コース } 40分 / 1レッスン Technical Lycees : 4年間コース } 47時間 / 週 1,500時間 / 年</p> <p>240名 / 年, Technical High School Course の4年次は120名。</p> <p>どのような方法で募集を行うか確認する。 63年9月予定。</p> <p>5〜6名程度 (リーダー, 調整員含む) とする。分野: 総括, 業務調整, 電気, 電子, コンピュータ科学。</p> <p>派遣時期 調整員, 62年10月以降 専門家,</p> <p>必要に応じて派遣するものとする。</p> <p>C/Pの配置計画, 人数, 資格, 離職防止措置の確認。 トルコ側スタッフ(案):</p> <p>1. 所長 1. Director</p>
9.	開講時期		
10.	長期専門家の派遣数, 及び派遣計画		
11.	短期専門家の派遣数, 及び派遣計画		
12.	C/Pの資格, 人数, 及び役割	<p>「ト」側は4年生大学卒業業者 (Degree, Diploma) で3年以上の実務経験者を予定。</p>	

13.	技術移転の使用言語		2. 副所長
14.	C/Pの日本研修		2. Deputy Director
			3. 講師
			3. Lecturers
			(1) 電気 (1) Electric
			(2) 電子 (2) Electronics
			(3) コンピュータ科学 (3) Computer Science
			4. 指導員
			4. Instructors
			(1) 電気 (1) Electric
			(2) 電子 (2) Electronics
			(3) コンピュータ科学 (3) Computer Science
			5. 実習助手
			5. Assistant Training Officers
			6. 事務関係者
			6. Administrative Personnel
			(1) 事務長 (1) Executive Officer
			(2) 上級事務員 (2) Senior Clerical Officers
			(3) 一般事務員 (3) Clerical Officers
			(4) 経理事務官 (4) Accounting Officer
			(5) 倉庫要員 (5) Store Keepers
			(6) 守衛 (6) Guards
			(7) タイピスト (7) Typists
			(8) 秘書 (8) Secretaries
			(9) 運転手 (9) Drivers
			(10) 保守要員 (10) Maintenance Staff
			英語
			全体受入予定数：12名（毎年2名程度：受入機関は労働省）以下

		<p>の事項について「ト」側と協議、確認又は打合せを行う。</p> <p>(1) 受入システム説明及びA<sub>2</sub>、A<sub>3</sub>フォームの取付。(5月末必着の線で要請)</p> <p>(2) 62年度受入計画：2名  期間：8月から2名,  内容：日本語研修(2ヶ月) { シンケンス・コントローラ  技術研修(6ヶ月) { 電子マイクログロ・プロセッサー</p> <p>(3) 研修員の英語能力(条件)</p> <p>(4) 「ト」側の研修員選考, 派遣システムの確認。  A<sub>4</sub>フォームの速やかな申請を要請。供与機材の数量, 種類等について日本(案)をもとに「ト」側とすり合せを行うとともに, 購送時期, 購送システム, 据付(視聴覚のみ)試運転指導の必要性等について協議を行い, 機材リストを確定する。</p> <p>日本側で機材検討委員会を設置, 仕様書の作成を行う。</p> <p>供与機材及び携行機材のコンサイエーと荷上港を確認の上, 引取りに係る期間, 手続き等を調査する。</p> <p>プロジェクトの総括責任者(職業・技術教育局長), 実施責任者(ツヅラ職業技術高校校長)の確認。地方局長との関係も調査。  構成, 機能等を確認する。</p> <p>A<sub>1</sub>フォーム等の雛形提示の上, 早期提出方督促。(5月末必着) 離職防止措置について確認する。</p> <p>下記事項について確認する。</p>
15.	<p>供与機材</p> <p>(1) 機材リスト</p>	
16.	<p>(2) コンサイエー及び荷上港  運営管理</p>	
17.	合同委員会	
18.	要請手続の督促	
19.	C/Pの離職防止措置	
20.	「ト」側の予算措置	



		<p>予算の流れ</p> <p>87年度予算の現状(特に建物施設と運営管理の予算について)</p> <p>将来計画: 運営管理費, 施設整備費, C/P人件費(内訳のチャエック), 機材引取費, 消耗品調達費, 教材費, 実習材料費。 (消耗品調達費については負担すべき例をあげて説明)</p>								
<p>21. 組織図</p> <p>22. 建物・施設整備</p>		<p>本センターの組織図及び役割を明確にする。 (VHS, THS 両コースの職員の組織図を確認する)</p> <p>下記事項について確認する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 改修の進捗状況</li> <li>(2) 専門家の部屋の確保</li> <li>(3) 実習場のコンセント位置指定</li> <li>(4) コンピュータの空調設備要求</li> <li>(5) 床の上乗せ工事状況</li> <li>(6) 照度のチャエック</li> </ol> <p>さらに保守・管理設備の確認と要求を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(7) クラブルーム(4), 製図室(1): 初年度分</li> </ol> <p>確保要求</p> <p>※クラブルーム必要数</p> <table border="0"> <tr> <td style="border: none;">{</td> <td style="border: none;">1st year: 4</td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">2nd year: 8</td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">3rd year: 12</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">}</td> <td style="border: none;">4th year: 15</td> </tr> </table>	{	1st year: 4		2nd year: 8		3rd year: 12	}	4th year: 15
{	1st year: 4									
	2nd year: 8									
	3rd year: 12									
}	4th year: 15									

23.	C/Pへの技術移転計画	<p>62年度C/P2名受け入れ コースごと作成した計画をもとに技術移転を行う。</p> <p>専門家赴任後の技術移転計画作成について、</p> <p>(a) 技術移転のためのC/Pの確保を協議。  (b) 我が方C/P受入れ案の提示、カリキュラムの変更。  (c) カリキュラムは暫定としてR/D署名時にミニッツに収める。  (d) 生徒用のテキストは「ト」側が負担する。</p> <p>以下の事項について調査、確認を行う。</p> <p>(1) ヨロップ側及びアジア側からのイスタンブール通勤のための交通事情（交通機関、所要時間等）  (2) イスタンブール近隣の住居調査  (3) イスタンブール近隣の治安  (4) 子女教育施設の調査（送迎方法等）  (5) 一般物価調査</p> <p>以下の事項について調査、確認を行う。</p> <p>(1) 自家用車の持込条件  (2) 自動車税（4,000～8,000リラ）  (3) 公用自動車配置（通勤用及び日常業務用、運転手付きか否か）  (4) 国内旅費  (5) 機材持込み：供与、携行機材の無税措置  (6) その他</p>
24.	専門家の生活環境	
25.	専門家の特権免除、便宜供与	

## 付 属 資 料 Ⅲ

( 専 門 家 の 私 用 車 等 の 持 込 に 関 す る 条 項 )



## ARTICLE 6

The Republic of Turkey's article 2 paragraph 3 stipulates that, teachers and their family members will have to submit to the Turkish Government office concerned the list of their personal belongings and documents of ownership which state that these belongings will be taken out of Turkey, after using them. The current Turkish Custom Law stipulates that, furniture, personal items and necessary goods for their work can be temporarily imported into Turkey, under the discretion of Ministry of Education, Youth and Sports.

As mentioned in paragraph 1. furniture and personal items, according to Turkish Custom Laws, can be imported 2 months before entering or 6 months after living in Turkey. In case of emergency, Turkish Government can extend this period.

The above mentioned items can include following goods; Car, oven, refrigerator, ice box, washing machine cloth dryer, two air cleaners, radio, record player, tape deck, video, T.V., small electric tools per family, and air conditioner, camera, and projector per one family member.

As stated in paragraph 1, Turkish licence plates will be given to imported cars. German teacher and their family members can use their cars inside or outside of Turkey without paying custom duties for their cars.

According to Turkish Custom Laws, necessary items and instruments used in this period have to be checked. Only the Turkish Government can extend this period.



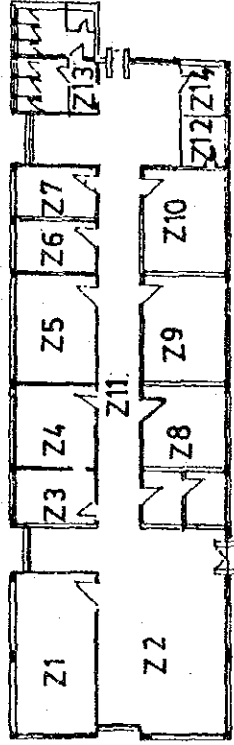
付 属 資 料 Ⅳ

( ツヅラ校現状レイアウト )





İDARİ ve DERSLİK BİNASI ZEMİN KATI

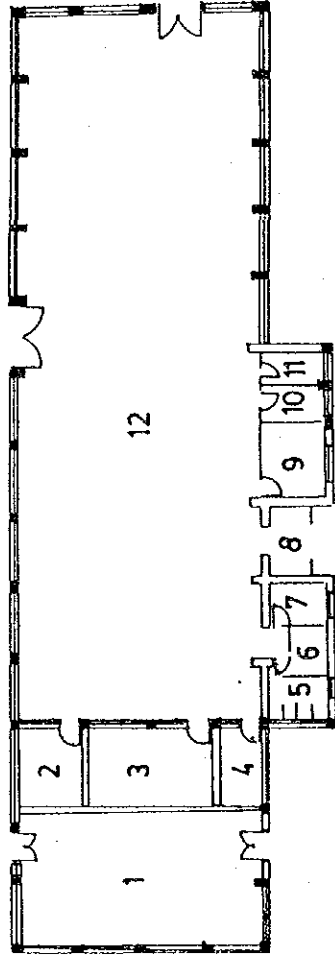


Z1-Derslik  
Z2-Salon  
Z3-Sekreter  
Z4-Müdür odası  
Z5-M. Müavini od.  
Z6-B. Müavin od.  
Z7-Tekstir od.

Z8-M. Müavini od.  
Z9-Muhasebe  
Z10-Personel od.  
Z11-Koridor  
Z12-Arsiv  
Z13-WC  
Z14-Santral od.

Ölçek = 1/500

MOTOR ATELYESİ YERLEŞİM PLANI

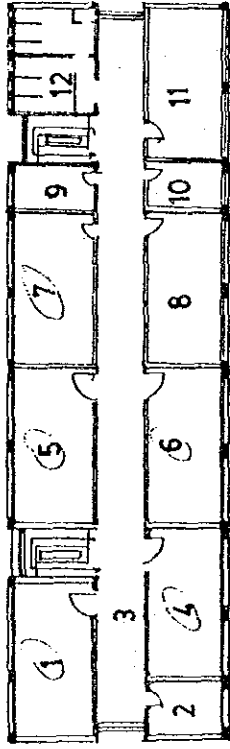


- 1-Genel depo
- 2-Oto elektrik deposu
- 3-Depo
- 4-Asit deposu
- 5-WC
- 6-Lavabo

- 7-Soyunma odası
- 8-Ruzgârlık
- 9-Öğrenmen odası
- 10-İlk yardım
- 11-Depo
- 12-Atelye

Ölçek: 1/500

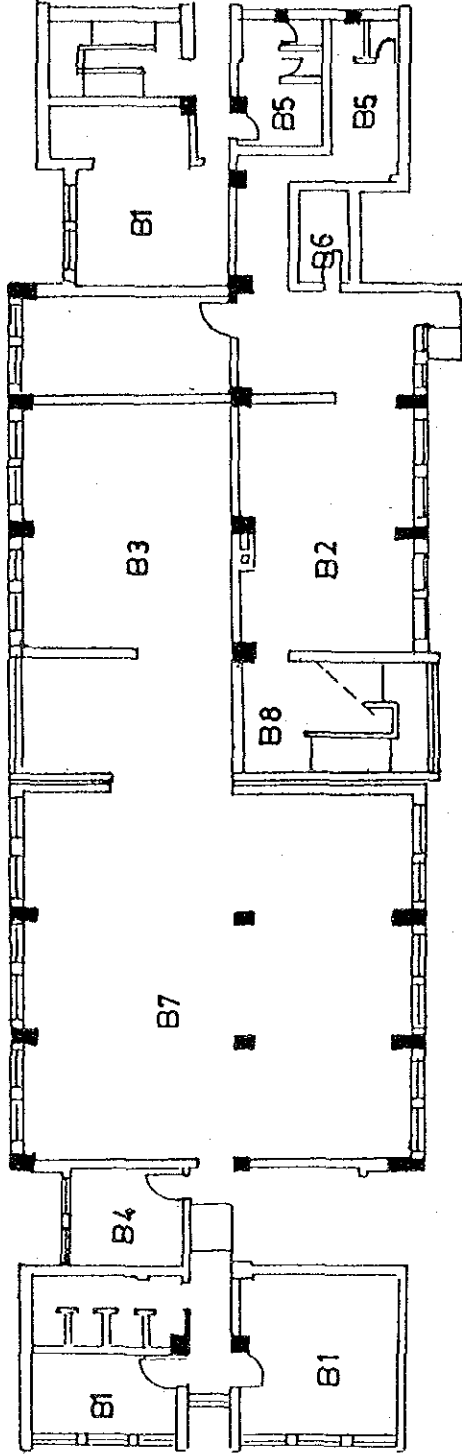
İDARİ ve DERSLİK BİNASI 1. KAT



- |                      |                                |
|----------------------|--------------------------------|
| 1-Derslik            | 7-Derslik                      |
| 2-Görsel araç deposu | 8-Projeksiyon konferans salonu |
| 3-Koridor            | 9-Ögr. od                      |
| 4-Derslik            | 10-Film hazırlama arşivi       |
| 5-Derslik            | 11-Kütüphane                   |
| 6-Derslik            | 12-WC                          |

Ölçek = 1/500

PANSİYON BİNASI BODRUM KATI



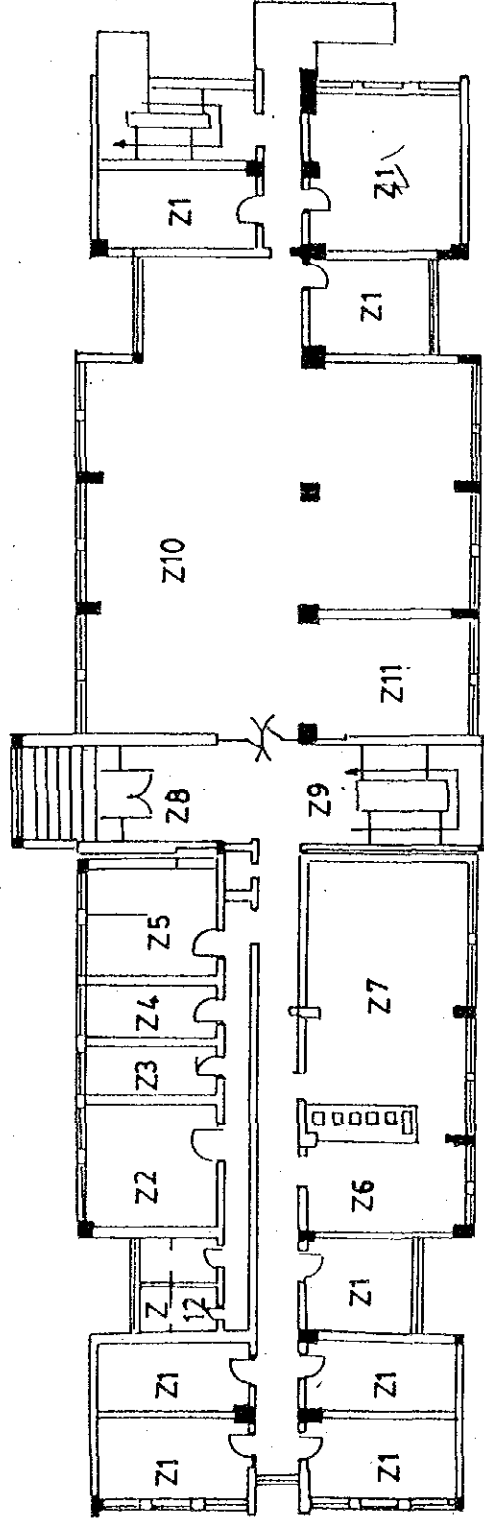
B1-Müstahdem od.  
B2-Mutfak  
B3-Kömrüçük  
B4-Kaloriferci

B5-WC-Dus  
B6-S.Hava d.  
B7-Kazan dairesi  
B8-Merdiven

Ölçek:1/500

Z1-Depo  
Z2-Revir  
Z3-Teçrit  
Z4-Hemsire.  
Z5-Doktor  
Z6-Ütü kurutma

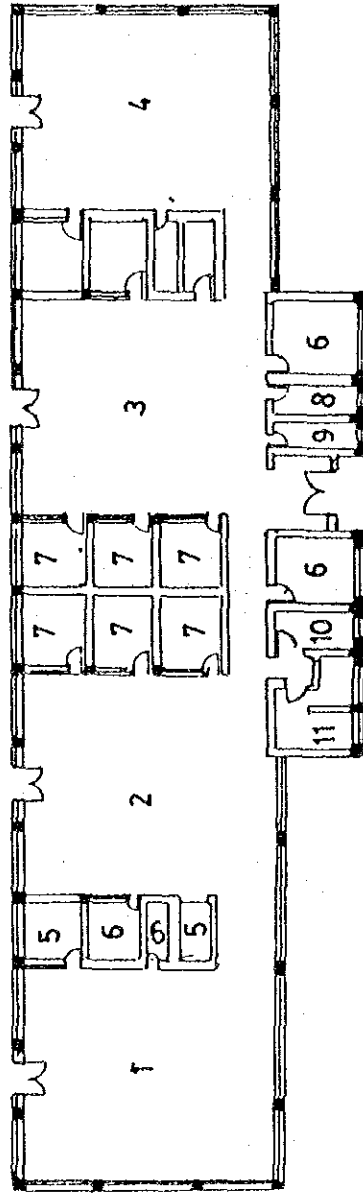
Z7-Çamaşırhane  
Z8-Ruzgarlık  
Z9-Merdiven  
Z10-Yemekhane  
Z11-Servis bulasık  
Z12-W.C



PANSİYON BİNASI ZEMİN KATI

Ölçek=1/500

MEAL İS ATELYESİ YERLESİM PLÂNI

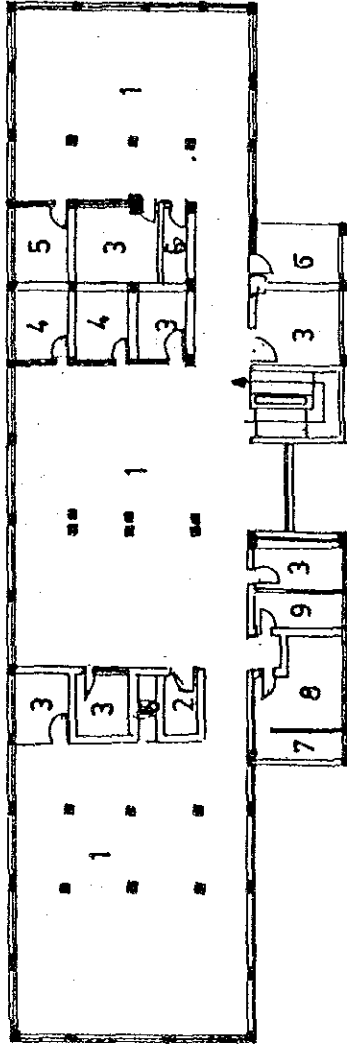


- 1-Elektrik ark atelyesi
- 2-Demircilik
- 3-Oksia. setilen
- 4-Sıcak işatelyesi
- 5-Öğc odı
- 6-Depo

- 7-Tesviye uygulama
- 8-İlk yardım
- 9-Bakım odası
- 10-Soyunma od.
- 11-WC

Ölçek: 1/500

ELEKTRİK ATELYESİ 2.KAT

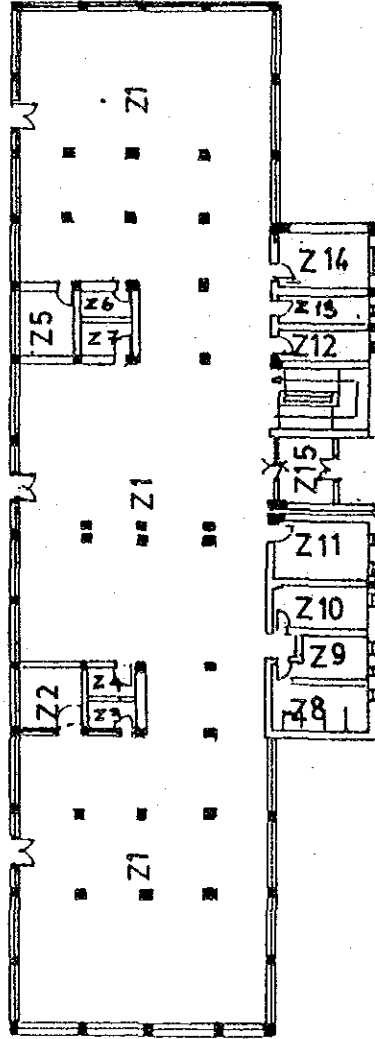


- 1- Atelye
- 2- Öğr. od.
- 3- Depo
- 4- Tes. uygulama
- 5- Kazan d. çalış

- 6- Yedek od.
- 7- WC
- 8- Lavabo
- 9- Soyunma od.

Ölçek:1/500

ELEKTRİK ATELYESİ ZEMİN KAT PLANI



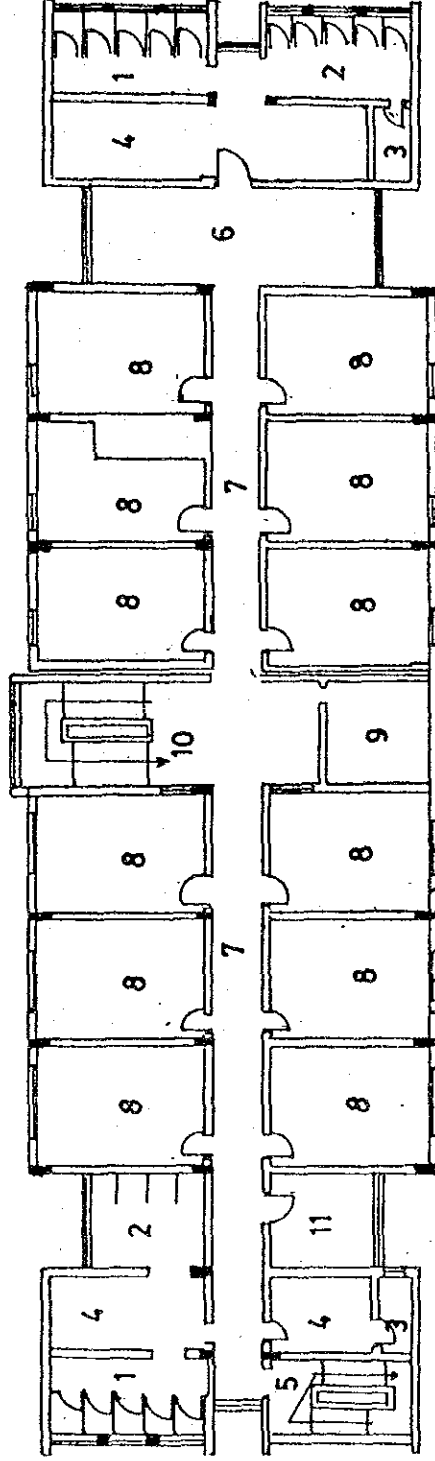
Z1-Atelye  
Z2-Depo  
Z3-Öğretmen od.  
Z4-Öğretmen od.  
Z5-Depo  
Z6-Öğretmen od.  
Z7-Depo

Z8-WC  
Z9-Lavabo  
Z10-Soyunma od.  
Z11-Depo  
Z12-İlk yardım  
Z13-Yedek parça od.  
Z14-Yedek od.  
Z15-Giriş holü

Ölçek: 1/500



PANSİYON BİNASI 1/2/3 KATLAR

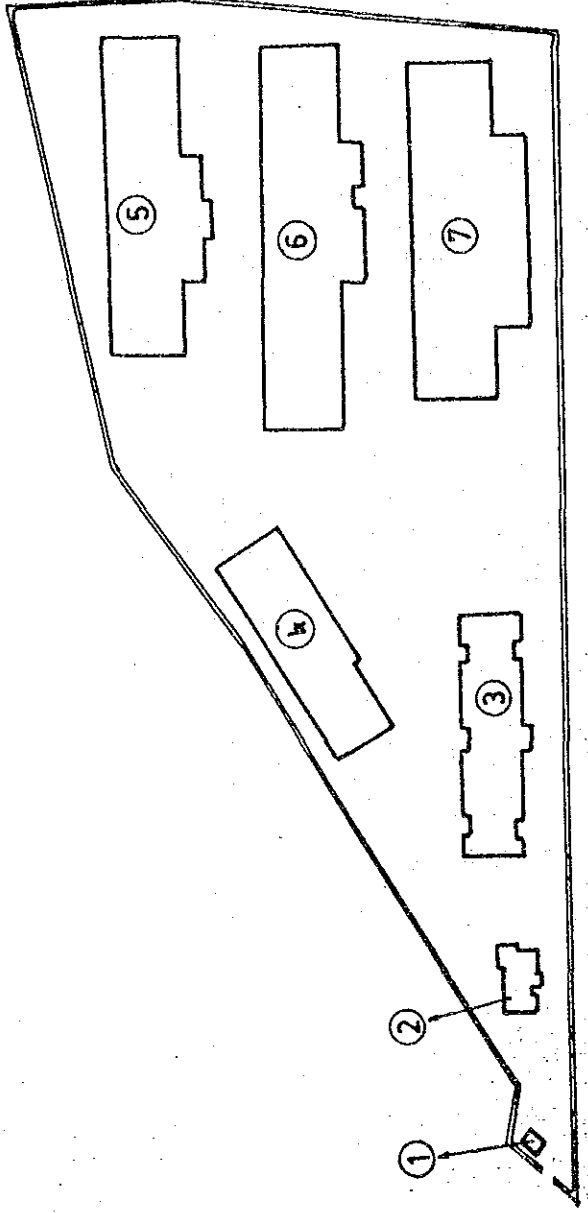


- 1- WC
- 2- Dus
- 3- Temizlik od.
- 4- Ayak yıkama
- 5- Merdiven

- 6- Hol
- 7- Koridor
- 8- Yatakhane
- 9- Öğrt. yatak od.
- 10- Merdiven
- 11- Öğrt. yatak od.

Ölçek:1/500

TUZLA ENDÜSTRİ MESLEK LİSESİ VAZİYET PLANI



- 1) Bekçi kulubesi
- 2) Lojman
- 3) Yurt binası
- 4) İdare ve derslik
- 5) Motor atelyesi
- 6) Metal atelyesi
- 7) Elektrik atelyesi

ÖLÇEK:1/1500

付 属 資 料 V

(日本側質問状とそれに対するトルコ側回答)



(A) 日本側より提出の質問状 (1987. 3/24)

QUESTIONARE:

1. BUDGET

- (1) Budget flow (the system of the budget)
- (2) The current state of the 87 fiscal year budget, especially the budgets for the building and facilities, the administration and management of the Project.
- (3) Future plan :
  - (a) administrative and managerial costs.
  - (b) salaries for the Turkish counterparts.
  - (c) expenses for the renovation and extention of the building and facilities.
  - (d) cost to recieve the equipænt.
  - (e) procurement cost of the spareparts.

2. BUILDING AND FACILITIES

- (1) the current state of renovation and extention work.
- (2) the securement of Japanese expert's rooms.
- (3) facilities for maintenance.
- (4) construction work to elevate the floor.

3. THE QUALIFICATION, NUMBER AND THE ROLE OF THE TURKISH COUNTERPARTS

- (1) recruitment situation
- (2) exact number of instructors and lecturers, and administrative personnel(if possible).
- (3) qualification
- (4) role(scope of work).

4. PRIVILEGES, EXEMPTION AND BENEFITS GIVEN TO THE JAPANESE EXPERTS

- (1) conditions for bringing their own cars into the Republic of Turkey.
- (2) automobile tax.
- (3) the arrangement of the cars and drivers for official use( for commuting and daily work)
- (4) travel allowance for the official domestic trips.
- (5) tax exemption for the equipment which will be provided or brought in person.

5. OFFICIAL NAME OF THE PROJECT

The name of the Project in English and Turkish.

6. SIGNATORIES OF R/D

7. OPENING DATE OF THE COURSES

8. METHOD OF RECRUITING THE STUDENTS

9. CONSIGNEE AND THE PORT WHERE THE EQUIPMENT IS TO BE DELIVERED

Procedures and time necessary for the delivery of the equipment.

10. THE ADMINISTRATION AND MANAGEMENT OF THE PROJECT

- (1) the person who has the overall responsibility for the implementation of the Project. (General Director of Vocational and Technical Education)
- (2) the person who is responsible for the management and operation of the Project. ( Director of the Project)
- (3) the relationship between (1),(2) and the Director of National Education in Istanbul.

11. MESURES TO PREVENT "JOB HOPPINGS"

12. ORGANIZATION CHART OF THE PROJECT

(B) トルコ側からの回答 (1987. 4/8)

1. BUDGET

(1) Appropriations sent to the schools by General Directorate of Vocational and Technical Education are:

- (a) 200 Travel allowances
- (b) 300 Service procurement (renovation, etc.)
- (c) 400 Consumable goods & materials (paper, coal, wood, food, etc.)
- (d) 500 Registered stock
- (e) 411-900 Scholarships
- (f) 414-900 Dormitory expenses
- (g) 600 Equipment procurement

The salaries and other personnel expences of Administrative personnel, Teachers and Support personnel are paid from the total appropriation of budget sent to the provinces.

(2) Appropriations for Tuzla Vocational & Technical High School (1987 fiscal year)

300 Expenditure appropriation	152,000 TL
400 Expenditure appropriation	4,224,000 TL
500 Expenditure appropriation	21,000 TL

- (3)
- (a) Explained in (1)
  - (b) Turkish counterparts will get their Salaries.
  - (c) Major and minor renovations are covered by the relevant expenditure appropriations.
  - (d) The cost to receive equipment will be provided from the Directorate Procurement and Educational Aids Department. The money is used by the direwctor of Tuzla Vocational & Technical High School.
  - (e) Procurement cost of the spare parts & consumables will be covered by the appropriations made from the budget of General Directorate of Vocational and Technical Education, from Directorate of Procurement and Educational Aids, and from Apprenticeship, Vocational and Technical Training Development and Expansion Fund.



## 2. BUILDING AND FACILITIES

- (1) Renovation work has not been started because of lack of detailed information.
- (2) Rooms for Japanese experts will be provided.
- (3) The maintenance of facilities will be provided from the appropriations of General Directorate's Budget.
- (4) Elevation of the floor has not been done because of lack of information.  
(For these works 50 million TL is allocated)

## 3. THE QUALIFICATION, NUMBER AND THE ROLE OF THE TURISH COUNTERPARTS

- (1) The number of teachers are recruited from the graduates of Faculty of Technical Education every year.
- (2) Existing number of instructors are:
  - 1 Director
  - 2 Assistant Director
  - 9 Vocational & Technical teacher
  - 3 Clerk
- (3) Graduation from Faculty of Technical Education, at least three years of teaching experience, good command of English.
- (4) Teacher and Counterpart.

## 4. PRIVILIDGES, EXEMPTION & BENEFITS GIVEN TO THE JAPANESE EXPERTS

- (1) When they bring their cars, they have their cars registered to their passports, within three months following the arrival to Turkey they are supposed to apply to the Turkish TURING Automobile Club to get Blue Card which costs 44,800 TL. There has to be a deposit paid according to the age, brand, model and weight of the car. (For more information 1317648)
- (2) Twice a year (January & July) car use tax has to be paid according to the age, brand, model of the car.
- (3) For commuting and daily for, transportation (car(s) and (drivers)) will be provided.
- (4) (Detailes are provided)
- (5)

5. OFFICIAL NAME OF THE PROJECT

ISTANBUL - TUZLA  
VOCATIONAL AND TECHNICAL HIGH SCHOOL  
PROJECT

ISTANBUL - TUZLA  
TEKNIK VE ENDÜSTRİ MESLEK LİSESİ  
PROJECT

6. SIGNATURIES OF R/D

- (1) Doc. Dr. S. İlhan SEZGIN  
Assistant Undersecretary  
Ministry of National Education, Youth and Sports.
- (2) Mehmet İYİĞÜN  
General Director  
of Vocational and Technical Education Ministry of National  
Education, Youth and Sports.

7. OPENING DATE OF THE COURSES

September 1988

8. METHOD OF RECRUITING THE STUDENTS

Middle school graduates are recruited through central placement  
examination

9. CONSIGNEE AND THE PORT WHERE THE EQUIPMENT IS TO BE DELIVERED

Consignee:

Director of Tuzla Vocational High School

Port:

Port of Istanbul

Procedure:

When the invoice is received it has to be taken to the Ministry of Finance and Customs to get the tax exemption certificate.

When the Ministry of Finance and Customs is furnished with the background informatio about the Project it does not take too long to get it. This certificate allow the director of the Tuzla Vocational and Technical High School Director to clear goods from the customs right away.

Handling and transportation takes only one day to get to the school.

10. THE ADMINISTRATION AND MANAGEMENT OF THE PROJECT

- (1) The General Director of Vocational and Technical Education has the overall responsibility of the for the implementation of the Project.
- (2) The Director of Tuzla Vocational and Technical High School is responsible for the management and operation of the Project.
- (3) General Directorate (1) is the Central Agency. The Directorate of Tuzla Vocational High School (2) is the delivery unit of training and attached to the General Directorate. The Directorate of National Education in Istanbul is of National Education in Istanbul is the intermediary between them (1 and 2).

11. MEASURES TO PREVENT "JOB HOPPINGS"

Teachers are bonded to work at least for the same length of time for the training provided in country and for the twice of the length of time for the training provided overseas.

12. ORGANIZATION CHART OF THE PROJECT.

It is provided at Annex 1.



付 属 資 料 Ⅵ

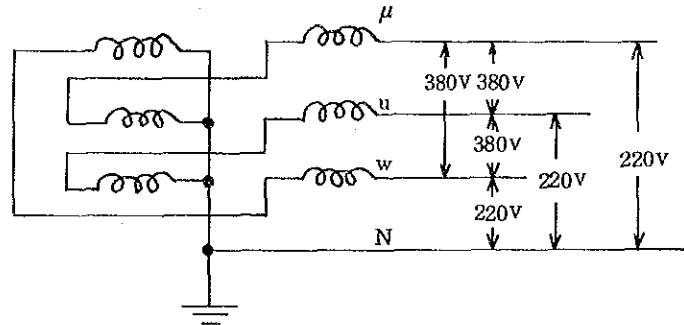
( 受 変 電 設 備 調 査 結 果 )



イスタンプール ツツラ職業技術高校

受電電気方式	三相三線式
受電電圧	34.5 (kV)
周波数	50 (Hz)
しゃ断器	パワーヒューズ
開閉器	気中開閉器
変圧器	
容量	630 (kVA)
一次結線	スター
二次結線	千鳥 中性点接地
二次電圧	3φ用 380 (V) 1φ用 270 (V)

二次結線図



※ 電気室内には三相変圧器一台を設置。進相コンデンサ，保護継電器類および一次側変成器はない。電力容量は施設規模から考えて供給能力に不足はないと見られる。





付 属 資 料 Ⅶ

( 実 習 場 電 気 容 量 計 画 案 )



## ELECTRIC SUPPLY PLAN

SECTION	CABINET NO.	SINGLE PHASE		THREE PHASE
		OUTLET(※1) (220V 2P)	LIGHT (F40W×4)	NUMBER OF BRANCH (CAPACITY OF 1BRANCH)
Winding Workshop	E-1L1 E-1P1	20	12	2/(3KVA)
Metal Workshop	E-1L2 E-1P2	20	12	2/(15KVA) 10/(3KVA)
Measuring Laboratory 1	E-1L3 E-1P3	20	12	6/(3KVA)
Measuring Laboratory 2	E-1L4 E-1P4	20	12	2/(3KVA)
Automatic Control Workshop 1	E-1L5 E-1P5	20	12	2/(3KVA)
Automatic Control Workshop 2	E-1L6 E-1P6	20	16	2/(3KVA)
Housewiring Workshop	E-1L7 E-1P7	20	24	3/(3KVA)
Consumer Electronics Workshop	E-2L1	40	12	—
Measurement Laboratory	E-2L2 E-2P2	40	9	2/(3KVA)
Digital Electronics Workshop	E-2L3	40	9	—
Experiment Laboratory	E-2L4 E-2P1	20	8	3/(3KVA)
Electronics Workshop	E-2L5	20	8	—
Audio Frequency Laboratory	E-2L6	40	8	—
Basic Electronics Laboratory	E-2L7	40	12	—
Development Room	C-2L1	35	9	—
Programming and I/O Design Room	C-2L2	20	9	—
Industrial Robotic Laboratory	C-2L3	15	9	—
Computer Operating Room	C-2L4 C-2P2	40	(※2)	1/(10KVA)
Computer Hardware Room	C-2L5	40	12	—
Audio Visual and Language Laboratory		40	20	1/(10KVA)
Drafting Room		10	24	—

(※1) ONE SINGLE PHASE OUTLET SUPPLIES MORE THAN 150VA.

(※2) 12LIGHT ARE SET HERE BUT F40W×2



付 属 資 料 Ⅷ

( 手 工 具 リ ス ト )



LIST OF TOOLS

No.	Item	Specification	Quantity			
			Electric	Electronics	Computer	Total
1	Steel Stamps	Number	3	3	3	9
2	"	Alphabet	3	3	3	9
3	Steel Compass	125 mm	15	15	15	45
4	Center Punch	100 mm	15	15	15	45
5	Square	100 mm	15	15	15	45
6	Hammer	1 b	60	45	45	150
7	"	1 $\frac{1}{2}$ b	30	30	30	90
8	Rail Anvil	125 mm	8	8	8	24
9	Machinist Flat Files	300 mm Bastard	30	30	30	90
10	"	250 mm Second Cut	30	30	30	90
11	"	200 mm Smooth	30	30	30	90
12	"	150 mm Oil	30	30	30	90
13	Machinist Round Files	250 mm Second Cut	30	30	30	90
14	"	200 mm Smooth	30	30	30	90
15	Sef of Needle Files	5 pcs	30	30	30	90
16	"	8 pcs	—	30	30	60
17	Steel Rule	1,000 mm	—	15	—	15
18	"	600 mm	15	—	15	30
19	"	300 mm	30	30	30	90
20	BAHCO Type Screw Clamp	150 mm	3	3	3	9
21	Read Type Poralle Vise	125 mm	30	30	15	75
22	Adjustable Top Wrench	250 mm	30	30	30	90
23	Stocks For Round Sprit Dies	M 4	30	30	30	90
24	"	M 5	30	30	30	90
25	V Block	100 mm	10	10	10	30
26	Tinners Sissors	Curve	15	15	15	45
27	"	Straight	15	15	15	45
28	Torch Lamp	Gasoline	15	—	—	15
29	Electric Soldering Iron	30 W	—	90	60	150
30	"	60 W	90	30	30	150
31	"	200 W	15	—	—	15
32	Soldering Iron Stand		90	90	60	240
33	Radio Plier	125 mm	90	90	60	240

34	Nipper	125 mm	90	90	60	240
35	Wire Stripper	For Control Wire	60	30	30	120
36	"	For Electronics	—	30	30	60
37	Pin Set	125 mm	30	90	60	180
38	Set Spanner	mm 6 pcs/set	—	15	15	30
39	Hack Saw	250 mm	60	45	45	150
40	Handle For File	125 mm	180	180	180	540
41	Screw Driver (Insulated)	-2.6×75 mm	15	30	30	
42	"	-4 ×100 mm	30	30	30	90
43	"	-5 ×125 mm	15	30	30	
44	"	+No. 175 mm	15	30	30	
45	"	+No.2,100 mm	30	30	30	90
46	"	+No.3,150 mm	15	30	30	
47	" (Through-Out)	-4 ×100 mm	30	—	—	30
48	"	+No.2×100 mm	30	—	—	30
49	Tool Box	320×130×15.0	30	30	30	90
50	Box Driver	4.0× 75	30	30	30	60
51	"	5.0×115	—	30	30	60
52	"	5.5×115	—	30	30	60
53	"	6.0×115	—	30	30	60
54	"	7.0×125	—	30	30	60
55	Convex Rule	2 m	60	30	30	120
56	Vernier Caliper	150 mm	15	15	15	45
57	Drill Bit (Twist)	0.5	—	30	30	60
58	"	0.6	—	30	30	60
59	"	0.7	—	30	30	60
60	"	0.8	—	30	30	60
61	"	0.9	—	30	30	60
62	"	1.0	—	30	30	60
63	"	1.1	—	30	30	60
64	"	1.2	—	30	30	60
65	"	1.3	—	30	30	60
66	"	1.4	—	30	30	60
67	"	1.5	—	30	30	60
68	"	3.2	30	30	30	90
69	"	4.0	30	30	30	90



70	Drill Bit (Twist)	5.0	30	30	30	90
71	"	8.0	30	30	30	90
72	"	10.0	30	30	30	90
73	Hand Nibbler Set		—	10	10	20
74	Chasis Punch Set		—	5	5	10
75	Hand Rivetter Set		—	5	5	10
76	Chasis Reamer	38 $\phi$	—	10	10	20
77	Adjustable Augle Wernch	150 mm	—	10	10	20
78	"	200 mm	—	10	10	20
79	Hexagonal Wrench	1—10 (10 pes)	—	10	10	20
80	Cable Joint Plier	280 mm	—	15	15	30
81	Side Cutting Plier	175 mm	30	15	15	60
82	Pipe Wrench	50 $\phi$	3	—	—	3
83	Water Pump Plier		30	15	15	60
84	Electricians Safety Belt		30	15	15	60
85	Leather Sock For Electrician		120	60	60	240
86	Electricians Knife		30	15	15	60
87	Electricians Waist Bag		30	15	15	60
88	Reed Type Die Stock With Ratchet		8	4	4	16
89	Pipe Cutter	50 mm	8	4	4	16
90	Pipe Bender	3/4 C	8	4	4	16
91	Pipe Vise	75 mm	8	4	4	16
92	Brace		8	4	4	16
93	Step Ladder	912 mm	5	—	—	5
94	"	1,816 mm	5	—	—	5
95	Key Wrench Set		10	—	—	10
96	Driver Set		10	—	—	10
97	Paper Cutter	For Insutator	10	—	—	10
98	Tape Measure		3	—	—	3
99	Bearing Separator		3	—	—	3
100	Box Block With V Groove	125 mm	6	6	6	18
101	Cutter	Olfa P-cutter	—	30	30	60
102	Hack Scur Blade	250 mm	60	45	45	150
103	Bolt Clipper		2	—	—	2
104	Clamping Tool	1.25~8 mm <sup>2</sup>	30	15	15	60
105	"	8 mm <sup>2</sup> ~100 mm <sup>2</sup>	2	—	—	2

106	Combination Wrench Set		5	—	—	5
107	Plane		10	—	—	10
108	Chisel	For Steel	30	15	15	60
109	"	For Wood	20	—	—	20







JICA